

Roland



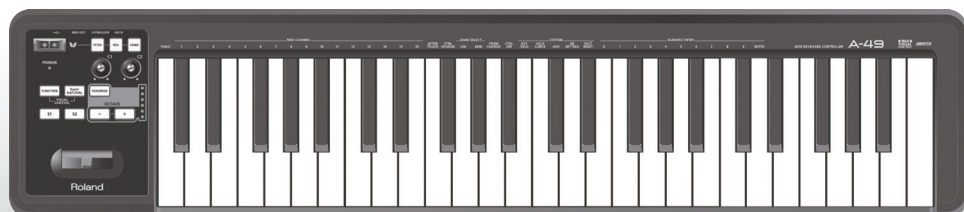
PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<http://www.roland.co.jp/manuals/>



2. 製品名「A-49」を選んでください。



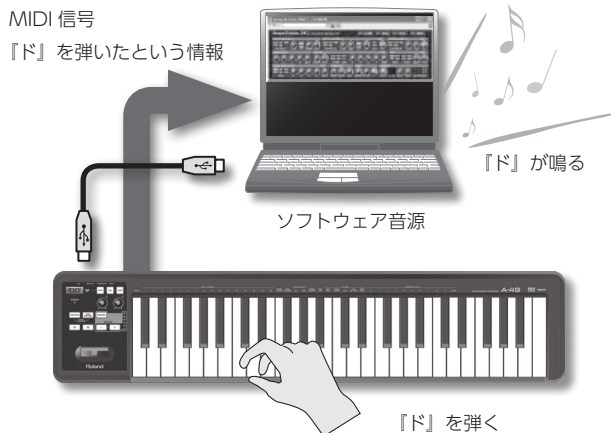
A-49

MIDI KEYBOARD CONTROLLER

取扱説明書

MIDI とは

MIDI（ミディ）とは、電子楽器やパソコンで演奏情報をやり取りする世界共通規格です。たとえば下の図では、A-49 の「『ド』の音を弾いた」という MIDI 信号がパソコンのソフトウェア音源に届き、ソフトウェア音源から「ド」の音が鳴ります。



このように、MIDI は、「『ド』の音のある強さで弾く」、「楽器の音をバイオリンに変える」、「音量を大きく／小さくする」、「音の高さ（ピッチ）を高くしたり低くしたりする」などの演奏情報を他の楽器に伝えます。つまり、MIDI とは「楽器の言葉」なのです。

MIDI は演奏の指示を与える信号だけなので、音を鳴らすためにはソフトウェア音源などの MIDI 音源が必要になります。

世界中のソフトウェア音源や DAW（Digital Audio Workstation）ソフトウェアが MIDI に対応しています。

メモ

DAW ソフトウェアとは、音楽制作ソフトウェアの総称です。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』（P.3）と『使用上のご注意』（P.4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくために、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
 注意	取り扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表しています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表しています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表しています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表しています。
	●は、強制（必ずすること）を表しています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

分解や改造をしない

本機を分解したり、改造したりしないでください。



個人で修理や部品交換はしない

修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所で使用や保管はしない

次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



警告

不安定な場所に設置しない

本機を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



異物や液体を入れない、液体の入った容器を置かない

本機に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。



異常や故障が生じたときは電源を切る

次のような場合は、直ちに USB ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- 煙が出たり、異臭がしたりしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

使用上のご注意

⚠ 警告

お子様の取り扱いに注意する

お子様のいる場所で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



落としたり、強い衝撃を与えたりしない

本機を落としたり、本機に強い衝撃を与えないでください。



⚠ 注意

コードやケーブルは煩雑にならないように配線する

接続したコードやケーブル類は、煩雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



上に乗ったり、重いものを置いたりしない

本機の上に乗ったり、機器の上に重いものを置いたりしないでください。



移動するときはすべての接続をはずす

本機を移動するときは、外部機器との接続をはずしてください。



使用上のご注意

電源について

- 接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

設置について

- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 直射日光の当たる場所や発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露する）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になります。数時間放置して、結露がなくなってから使用してください。

- 鍵盤の上に物を置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。
- 設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。
- 本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ・ 変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

修理について

- ・ お客様が本機を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- ・ 修理に出されると、初期化されます。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎた後でも、故障箇所によっては修理可能場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。
- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ・ 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ・ ケーブルを抜くときは、ショートや断線を防ぐため、プラグ部分を持って引き抜いてください。
- ・ 音楽をお楽しみになる場合、周囲に迷惑がからないように、音量に十分注意してください。
- ・ 輸送や引っ越しをするときは、本機が入っていた箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- ・ 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄するときは、各地域のゴミの分別基準に従ってください。
- ・ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

- ・ D ビーム・コントローラーの有効範囲は、強い直射日光の下では極端に小さくなってしまいます。屋外でD ビーム・コントローラーを使用するときはご注意ください。

著作権／ライセンス／商標について

- ・ Roland、SuperNATURAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の商標または登録商標です。
- ・ 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。

使いかた早見表

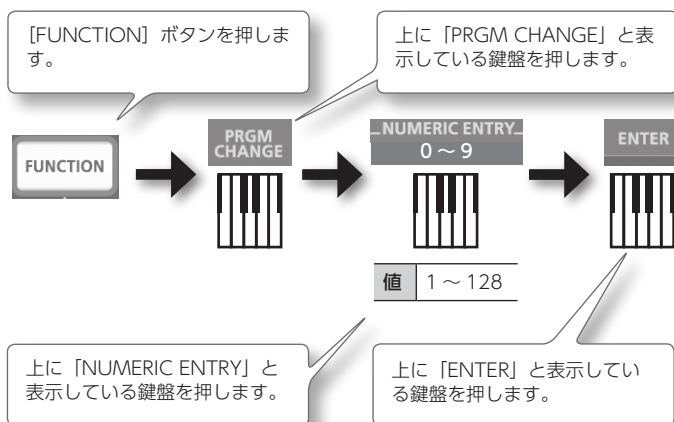
演奏する	動作モードを切り替える (PLAY / FUNCTION / SuperNATURAL / MIDI Visual Control)	P.14
	MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)	P.19
	音色を替える ([S1] [S2] ボタン)	P.19
	演奏する	—
	オクターブ・シフト、トランスポーズ	P.21
	ピッチ・ベンド、モジュレーション	P.22
	D ビーム	P.23
	[C1] [C2] つまみ	P.24
	ホールド、エクスプレッション	P.25
	アフタータッチ	P.26
	鳴りやまない音を止める	P.26
	SuperNATURAL 音源を使って演奏する	P.16
	MIDI Visual Control 対応の映像機器をコントロールする	P.17
A-49 の設定を変える	ペロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)	P.28
	押さえた鍵のペロシティー値を設定する (KEY VELO)	P.29
	つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える	P.30
	SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)	P.29
	つまみ、D ビーム・コントローラー、ボタン、ペダルの値の大きくなる 向きを変える (CTRL DIR)	P.33
	使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える	P.34
	工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)	P.34

目次

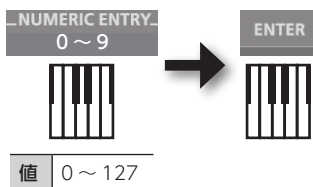
安全上のご注意	3
使用上のご注意	4
使いかた早見表	6
パッケージの内容	9
各部の名称とはたらき	10
パネル	10
リア・パネル	12
ドライバーのインストール	13
動作モードについて	14
動作モードを切り替える	14
PLAY モード	14
FUNCTION モード	15
SuperNATURAL モード	16
MIDI Visual Control モード	17
演奏する	18
MIDI の流れ	18
MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)	19
音色を替える	19
鍵盤の音の高さを変える	21
レバーで音に効果を加える	22
D ビームで音に効果を加える	23
つまみで音に効果を加える	24
ペダルで音に効果を加える	25
アフタータッチで音に変化を付ける	26
鳴りやまない音を止める (PANIC)	26
A-49 の設定を変える	27
ベロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)	28
押さえた鍵のベロシティー値を設定する (KEY VELO)	29
SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)	29
つまみ、ボタン、端子に割り当てる 機能を替える	30

プログラム・チェンジ・メッセージを割り当てる (PRGM CHANGE)	30
アフタータッチを割り当てる	31
コントロール・チェンジ・ナンバー (CC#) を割り当てる	31
つまみ、D ビーム・コントローラー、 ペダルの値の大きくなる向きを変える (CTRL DIR)	33
使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える	34
工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)	34
故障かな?と思ったら	35
ドライバーをインストールするときの トラブル	35
本機を使用するときのトラブル	35
主な仕様	38
MIDI インプリメンテーション・チャート	39
索引	43

手順説明のイラストの見かた



NUMERIC ENTRY の押す順番と入力される値の関係



NUMERIC ENTRY の押す順番	入力される値
6、4、ENTER	64
1、2、7、ENTER	127
1、2、8、ENTER	28
9、3、5、7、ENTER	57

※ 範囲外の値を押したときは、ENTER を押す前までの有効な値が反映されます。

アイコンの説明

アイコン	説明
	[C1] [C2] つまみを回す。
	ホールド・ペダルを踏む。
	エクスプレッション・ペダルを踏む。

パッケージの内容

パッケージを開けたら、まずすべての内容物があるかどうか確認してください。
不足している場合は、お買い上げになった販売店までご連絡ください。

☐ A-49



☐ Ableton Live Lite シリアル番号カード

Ableton Live Lite をインストールする際に必要となるシリアル番号が記載されています。
シリアル番号は再発行できません。紛失しないようご注意ください。
インストールの手順やその他の情報については、<http://roland.cm/livelite> をご覧ください。
ローランドでは、Ableton Live Lite のサポートはいたしません。あらかじめご了承ください。

☐ USB ケーブル

パソコンの USB 端子と A-49 をつなげるためのケーブルです。

※ USB ケーブルは付属のものをお使いください。破損や紛失により USB ケーブルが必要な場合は、巻末に記載されている『お問い合わせの窓口』にご相談ください。

■ 取扱説明書

本書です。常に手元に置いて、いつでも参照できるようにしてください。

☐ 保証書

A-49 本体の保証書です。保証期間内に A-49 の修理を受ける際に必要です。記載事項を確認の上、大切に保管してください。

☐ ローランド ユーザー登録カード

A-49 のユーザーとして登録していただくための登録カードです。ローランド ユーザー登録カードに記載されている登録方法をお読みになり、必ずユーザー登録をしてください。

各部の名称とはたらき

パネル

D ビーム (P.23)

D ビーム・コントローラー

手をかざして、音にいろいろな効果をかけます。

[PITCH] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーでピッチをコントロールできます。

[VOL] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーでボリュームをコントロールできます。

[ASSIGN] ボタン

オンにすると、D ビーム・コントローラーに割り当てた機能が使えます。(工場出荷時：アフタータッチ)

POWER インジケーター

A-49 とパソコンが USB 接続されると点灯します。

[C1] [C2] つまみ

つまみを回すと、割り当てた機能が使えます (P.24)。

[FUNCTION] ボタン

このボタンを押して点灯させて、鍵盤を押すことで MIDI チャンネルを変更したり、プログラム・チェンジを変更できます (P.15)。

[SuperNATURAL] ボタン

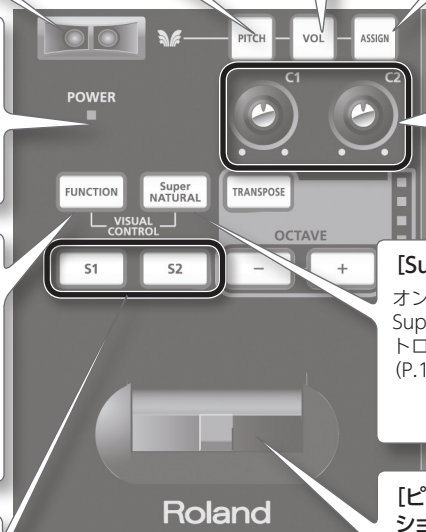
オンにすると、接続した SuperNATURAL 音源をコントロールすることができます (P.16)。

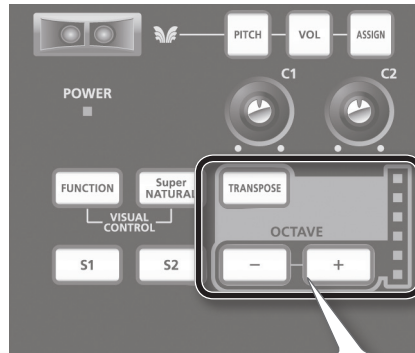
[S1] [S2] ボタン

ボタンを押すと、音源の音色を替えることができます (P.19)。

[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバー

ピッチ (音の高さ) を変化させたり、ビブラートをかけたりします (P.22)。



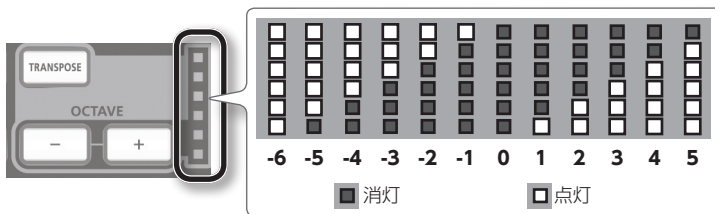


[TRANSPOSE] ボタン、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーター、[-] [+] ボタン
PLAY モード (P.14) のとき、[TRANSPOSE] ボタンを押すと、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターと [-] [+] ボタンの機能が切り替わります。

[TRANSPOSE] ボタンがオンのときトランスポーズは有効、オフのときは無効になります。

ボタン	機能	OCTAVE / TRANSPOSE インジケーター
[-] [+] ボタン	オクターブ (P.21) の値を変更	オクターブの値を表示
[TRANSPOSE] + [-] [+] ボタン	トランスポーズ (P.21) の値を変更	トランスポーズの値を表示

OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターの表示と値



リア・パネル

HOLD 端子

ペダル・スイッチ（別売：DP-2、DP-10）をつないで、ホールド・ペダルとして使います。（P.25）



EXPRESSION 端子

エクスプレッション・ペダル（別売：EV-5）をつないで、さまざまなパラメーターや機能をコントロールすることができます（P.25）。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。



USB COMPUTER 端子

A-49 とパソコンを USB ケーブルでつなぎます。

※ パソコンにドライバーをインストールしてから、つないでください。（P.13）



MIDI OUT 端子

他の MIDI 機器の MIDI IN 端子とつないで、MIDI メッセージを送信します。



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

ドライバーのインストール

で注意！

指示があるまでは、A-49 をパソコンに接続しないでください。

パソコンに接続するにはUSBドライバーをインストールする必要があります。USBドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにあるReadme.htmをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

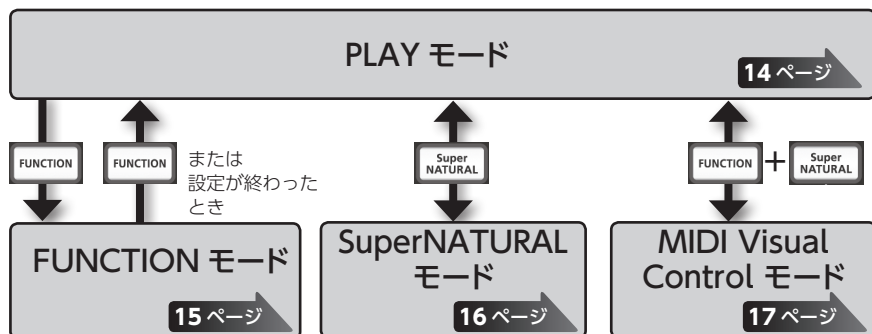
動作モードについて

動作モードを切り替える

A-49 は 4 つのモードがあります。

電源が入ると自動的に PLAY モードで起動します。

動作モードは以下のボタンを押すことで、切り替えることができます。



PLAY モード

PLAY モードとは

演奏用のモードです。鍵盤を弾くと、MIDI 機器を鳴らすようノート・メッセージが送信されます。

PLAY モードでは鍵盤を弾いて接続している音源を鳴らす以外に、[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバーを使用して発音中の音のピッチを変化させる（ピッチ・ベンド）、ビブラート効果を加える（モジュレーション）、オクターブを切り替える（オクターブ・シフト）などの機能を使用することができます。

PLAY モードの機能

演奏する	鍵盤、[ピッチ・ベンド／モジュレーション] レバー、[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、D ビーム・コントローラー、ホールド・ペダル、エクスプレッション・ペダルを操作して、MIDI メッセージを送信します。	P.18
------	---	------

FUNCTION モード

FUNCTION モードとは

特定のコントロール・メッセージを送信したり、本体を設定したりするモードです。FUNCTION モードでは、設定したい機能を鍵盤で選びます（鍵盤を弾いても演奏できません）。

FUNCTION モードの機能

MIDI 送信チャンネルを設定する	鍵盤、[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー、[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、D ビーム・コントローラー、ホールド・ペダル、エクスプレッション・ペダルの送信チャンネルを設定します。	P.19
プログラム・チェンジ・メッセージを送信する	プログラム・チェンジ・メッセージを送信します。	P.20
バンク・セレクト LSB を送信する	バンクを切り替えます。 バンク・セレクト LSB (CC#32) を送信します。	P.20
バンク・セレクト MSB を送信する	バンクを切り替えます。 バンク・セレクト MSB (CC#00) を送信します。	P.20
アフタータッチ・メッセージを送信する	アフタータッチ・メッセージを送信します。	P.26
リセット・メッセージを送信する	操作中に、接続した MIDI 音源の音が鳴りやまない、音がおかしいなどの症状がある場合に、リセット・メッセージ（オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラー）を送って症状を回復します。	P.26
鍵盤の設定を変える	ペロシティーの感度や、鍵盤を弾いたときに出力されるペロシティー値を調整します。	P.28 P.29
つまみ、ボタン、ペダルに割り当てている機能を替える	[C1] [C2] つまみ、[S1] [S2] ボタン、[ASSIGN] ボタン、HOLD 端子、EXPRESSION 端子に割り当てている機能 (CC#) を替えます。	P.30
つまみ、D ビーム・コントローラー、ボタン、ペダルの値の大きくなる向きを変える	[C1] [C2] つまみ、D ビーム・コントローラー、[S1] [S2] ボタン、HOLD 端子、EXPRESSION 端子の値の大きくなる向きを替えます。	P.33
SuperNATURAL モードのとき [C2] つまみの機能を切り替える	SuperNATURAL モードのとき、[C2] つまみの機能を切り替えます。	P.29
使用するドライバーを切り替える	使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替えます。	P.34
工場出荷時の設定に戻す	A-49 の設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。	P.34

SuperNATURAL モード

SuperNATURAL モードとは

SuperNATURAL 音源をコントロールするモードです。

A-49 から MIDI ケーブルでつないだ SuperNATURAL 音源をコントロールできます。

SuperNATURAL とは

SuperNATURAL

Behavior Modeling Technology により、従来の音源では難易度の高かった「自然で豊かな表現」を可能にしたローランド独自の音色群です。

Behavior Modeling Technology とは

楽器そのもののモデリングに加え、奏法における各楽器独特の振る舞いをもモデリングすることにより、リアルタイムに自然で豊かな表現を可能にする音源技術です。

SuperNATURAL モードの機能

ボタン、つまみなど	機能
[PITCH] ボタン	PLAY モードと同じ機能です。
[VOL] ボタン	
[ASSIGN] ボタン	汎用操作子 3 (CC#18)
[FUNCTION] ボタン	使用しません。
[S1] ボタン	汎用操作子 5 (CC#80)
[S2] ボタン	汎用操作子 6 (CC#81)
[C1] つまみ	汎用操作子 1 (CC#16)
[C2] つまみ	汎用操作子 2 (CC#17) SN SETTING (P.29) の設定によって、汎用操作子 4 (CC#19) になります。
[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー	PLAY モードと同じ機能です。
[TRANPOSE] ボタン	
[+] [-] ボタン	
HOLD 端子	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
EXPRESSION 端子	

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

MIDI Visual Control モード

MIDI Visual Control モードとは

MIDI Visual Control (MVC) 対応の映像機器をコントロールするモードです。A-49 から MIDI ケーブルでつないだ Visual Control 機器の映像をコントロールできます。MIDI Visual Control モードにして、A-49 の鍵盤を弾くと、演奏に合わせて映像をコントロールできます。

MIDI Visual Control とは



MIDI Visual Control は、音楽演奏と映像表現を結びつけるために、MIDI 規格に追加された世界共通の推奨仕様です。MIDI Visual Control 対応の映像機器と電子楽器を MIDI で接続することにより、演奏に合わせて映像をコントロールすることができます。

MIDI Visual Control モードの機能

ボタン、つまみなど	機能
[PITCH] ボタン	PLAY モードと同じ機能です。
[VOL] ボタン	
[ASSIGN] ボタン	アタック・タイム (CC#73)
[FUNCTION] ボタン	使用しません。
[S1] ボタン	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
[S2] ボタン	
[C1] つまみ	カットオフ (CC#74)
[C2] つまみ	レゾナンス (CC#71)
[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー	PLAY モードと同じ機能です。
[TRANSCOPE] ボタン	
[+] [-] ボタン	PLAY モードで使用している機能を使うことができます。
HOLD 端子	
EXPRESSION 端子	

※ かかる効果は、映像機器によって異なります。詳しくは、お使いの映像機器の取扱説明書をご覧ください。

演奏する

A-49 は電源が入ると自動的に PLAY モードで起動します (P.14)。

PLAY モードでは、鍵盤を弾くと MIDI 機器を鳴らすようにノート・メッセージが送信されます。

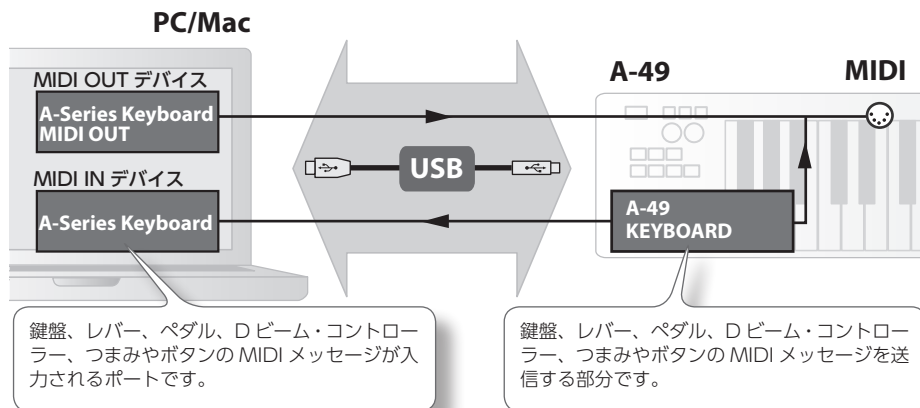
1. A-49 の MIDI 送信チャンネルと、MIDI 機器 (ソフトウェア) 側の MIDI 受信チャンネルを合わせます (P.19)。
2. 音色を選びます (P.19)。
3. 鍵盤を弾きます。

鍵盤を弾くと、MIDI メッセージが送信されます。

※ A-49 には音源は内蔵されていないため、A-49 単体で MIDI 演奏はできません。

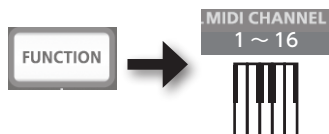
MIDI の流れ

MIDI 信号は以下のように流れます。



MIDI 送信チャンネルを設定する (MIDI CHANNEL)

MIDI 音源から音を出力するためには、A-49 の MIDI 送信チャンネルと、MIDI 音源の MIDI 受信チャンネルを合わせる必要があります。



メモ

- ・ 外部 MIDI 機器が受信するチャンネルの設定のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
- ・ 電源を切ると、設定は初期値 (MIDI CHANNEL 1) に戻ります。

音色を替える

MIDI 音源の音色を替えるには、プログラム・チェンジを送信します。

[S1] [S2] ボタンを押すとプログラム・チェンジを送信でき、音色を切り替えることができます。



ボタン	機能
[S1] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ小さくする
[S2] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ大きくする

※ プログラム・チェンジ・ナンバーの範囲は 1 ~ 128 です。

メモ

[S1] [S2] ボタンに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.30) をご覧ください。

違うバンクの音色を選ぶには、まずバンク・セレクトを送信して、プログラム・チェンジを送信します。

※ バンク・セレクトを送信するだけでは音色は変わりません。

※ バンク・セレクトは、プログラム・チェンジよりも先に送信する必要があります。

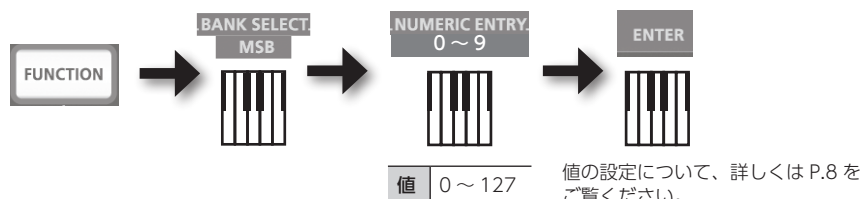
バンクとは

MIDI 音源では、たくさんある音色をバリエーション別にいくつかのグループに分けています。このグループをバンクと呼びます。

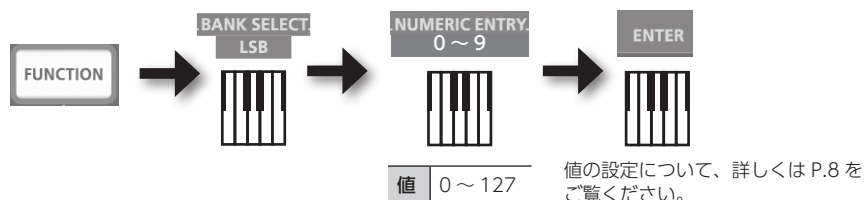
プログラム・チェンジでは同じバンク内の音色しか選べませんが、これにバンク・セレクトを組み合わせることで、バリエーションの違う音色が選べるようになっていきます。

※ 音色の並び方は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

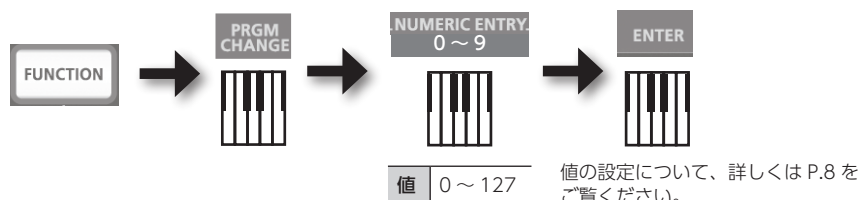
バンク・セレクト MSB を送信する (BANK SELECT MSB)



バンク・セレクト LSB を送信する (BANK SELECT LSB)



プログラム・チェンジ・ナンバーを送信する (PRGM CHANGE)



鍵盤の音の高さを変える

オクターブを切り替える（オクターブ・シフト）

[+] [-] ボタンを押して鍵盤の発音域を上げたり下げたりできます（オクターブ・シフト）。
-4 ～ 5 オクターブの範囲で値を設定できます。

現在のオクターブ・シフトの状態によって、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターが点灯します（P.11）。

[+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと、0 にリセットされます。

音の高さを変える（トランスポーズ）

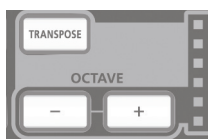
[TRANSPOSE] ボタンを押しながら [+] [-] ボタンを押すと、半音単位で移調することができます（トランスポーズ）。

-6 ～ 5 の範囲で値を設定できます。

現在のトランスポーズの状態によって、OCTAVE / TRANSPOSE インジケーターが点灯します（P.11）。

[TRANSPOSE] ボタンがオンのときトランスポーズは有効、オフのときは無効になります。

[TRANSPOSE] ボタンを押しながら [+] ボタンと [-] ボタンを同時に押すと、0 にリセットされます。



レバーで音に効果を加える

発音中の音のピッチを変化させる（ピッチ・ベンド）

【ピッチ・ベンド／モジュレーション】 レバーを左右に動かすと、ピッチ・ベンド情報が送信され、発音中の音のピッチに微妙な変化を加えます。

※ ピッチの変化の範囲（ベンド・レンジ）は、音源で設定します。

発音中の音に変化を与える（モジュレーション）

【ピッチ・ベンド／モジュレーション】 レバーを向こう側に倒すとモジュレーション情報（CC#01）が送信され、音にビブラート効果を加えます。

※ 得られる音色変化は音源側の設定によります。

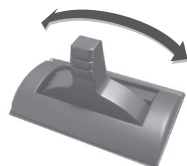
メモ

鍵盤を弾きながらレバーを左に倒すとピッチが下がり、右に倒すとピッチが上がります。これをピッチ・ベンド効果といいます。

また、レバーを向こう側に倒すとビブラートがかかります。これをモジュレーション効果といいます。

レバーを左または右に倒しながら向こう側に倒したときは、両方の効果が同時に得られます。

※ ピッチの変化の範囲（ベンド・レンジ）は、音源側で設定します。



ピッチ・ベンド効果



モジュレーション効果

D ビームで音に効果を加える

D ビーム・コントローラーは、手をかざすだけで使えるコントローラーです。割り当てる機能を変えて、音にいろいろな効果を加えることができます。



1. D ビーム [PITCH]、[VOL]、[ASSIGN] ボタンのいずれかを押し、D ビーム・コントローラーをオンにします（ボタン点灯）。

ボタン	機能
[PITCH] ボタン	D ビーム・コントローラーにかざした手の動きに従って、ピッチ（音の高さ）が変わります。
[VOL] ボタン	音量が変わり、演奏に抑揚を付けられます。
[ASSIGN] ボタン	割り当てた機能を使います。工場出荷時：アフタータッチ（P.26）

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

[ASSIGN] ボタンに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』（P.30）をご覧ください。

2. 鍵盤を弾いて音を出しながら、D ビーム・コントローラーに手をかざし、ゆっくりと上下させます。
3. D ビーム・コントローラーをオフにするときは、手順 1 で押したボタンをもう一度押します（ボタン消灯）。

D ビーム・コントローラーの有効範囲

D ビーム・コントローラーの有効範囲は図のようになっています。有効範囲から外れた位置に手をかざしても効果は得られません。

ご注意！

D ビーム・コントローラーは周辺の明るさによって感度が変化します。



つまみで音に効果を加える

〔C1〕〔C2〕つまみを回すと音を変えることができます。



つまみ	機能
〔C1〕つまみ	カットオフ（CC#74）が送信されます。
〔C2〕つまみ	レゾナンス（CC#71）が送信されます。

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

〔C1〕〔C2〕つまみに割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』（P.30）をご覧ください。

ペダルで音に効果を加える

A-49 はペダル・スイッチ（別売：DP-2、DP-10）とエクスプレッション・ペダル（別売：EV-5）に対応しています。

端子	機能	対応ペダル
HOLD 端子	ホールド (CC#64)	ペダル・スイッチ
EXPRESSION 端子	エクスプレッション (CC#11)	エクスプレッション・ペダル

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

メモ

HOLD 端子と EXPRESSION 端子に割り当てている機能を変えることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』（P.30）をご覧ください。

音を持続させる（ホールド）

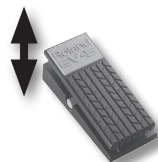
鍵盤を弾きながら、ペダル・スイッチを踏みます。
ペダル・スイッチを踏むことにより、音を持続（ホールド）させることができます。



演奏に抑揚を付ける（エクスプレッション）

鍵盤を弾きながら、エクスプレッション・ペダルを上下します。
音量を変化させることで、演奏に抑揚が付けられます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のもの（別売：EV-5）をお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

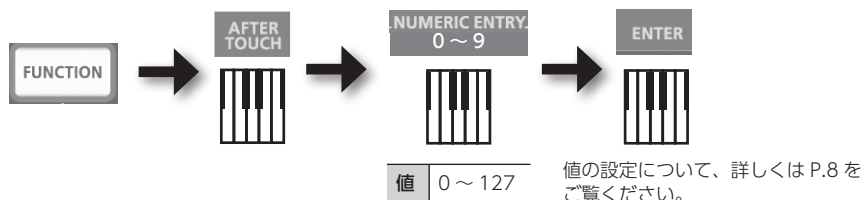


アフタータッチで音に変化を付ける

アフタータッチとは、鍵盤を押したあとにさらに強く押し込むことで音に変化が付く機能のことです。

A-49 では、鍵盤をさらに強く押し込んでアフタータッチを送信するのではなく、[ASSIGN] ボタンをオンにして D ビーム・コントローラーに手をかざすことでアフタータッチを送信します。

D ビーム以外にも、鍵盤から直接値を入力することができます。



※ アフタータッチの値を 0 以外にすると、音に変化が付いたままになります。不要なときは 0 に戻してください。

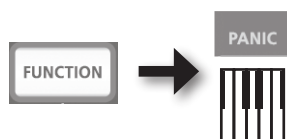
メモ

- A-49 では、アフタータッチはチャンネル・プレッシャーのみに対応して、ポリフォニック・キー・プレッシャーに対応していません。
- [C1] [C2] つまみや EXPRESSION 端子などにアフタータッチを割り当てることができます。詳しくは『つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える』(P.30) をご覧ください。

鳴りやまない音を止める (PANIC)

操作中に接続した MIDI 音源の音が鳴りやまない、音がおかしいなどの症状がある場合 (PANIC) には、リセット・メッセージを送信して症状を回避します。

リセット・メッセージ送信の操作では、オール・サウンド・オフ、オール・ノート・オフ、リセット・オール・コントローラーが全チャンネルに送信されます。



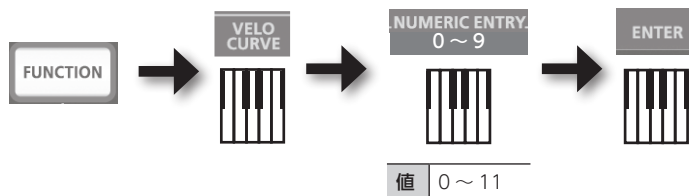
A-49 の設定を変える

FUNCTION モードで A-49 の設定を切り替えます。

パラメーター	工場出荷時	説明	ページ
VELO CURVE	1-MEDIUM	A-49 は鍵盤を弾くと、弾いた強さを検出してベロシティー値（音量）を送信します。 VELO CURVE では、鍵盤の感度と、ベロシティー値を変化させるときの変化のカーブを設定します。	P.28
KEY VELO	TOUCH	押さえた鍵のベロシティー値を設定します。	P.29
SN SETTING	MODE 0	SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替えます。	P.29
[C1] つまみ	カットオフ (CC#74)	つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替えます。	P.30
[C2] つまみ	レゾナンス (CC#71)		
[ASSIGN] ボタン	アフタータッチ		
[S1] ボタン	音色を替える (プログラム・チェンジ・ナンバーを小さくする)		
[S2] ボタン	音色を替える (プログラム・チェンジ・ナンバーを大きくする)		
HOLD 端子	ホールド (CC#64)		
EXPRESSION 端子	エクスプレッション (CC#11)		
CTRL DIR	正方向	つまみを右に回すと大きな値を送信するか、小さな値を送信するかを替えることができます。 また、D ビーム・コントローラー、ボタン、ペダルについても同様に替えることができます。	P.33
ADV	ADVANCED	『ドライバーのインストール』(P.13) で紹介した専用ドライバー (ADVANCED) を使用するか、OS が提供する標準ドライバー (GENERIC) を使用するか切り替えます。	P.34
FACT RESET	—	A-49 の設定をすべて工場出荷時の状態に戻します。	P.34

A-49 の設定を変える

ベロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)

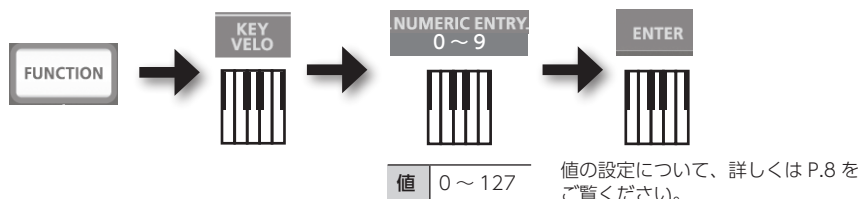


値の設定について、詳しくは P.8 をご覧ください。

※ 範囲外の値 (12 ~) を押したときは、入力されません。

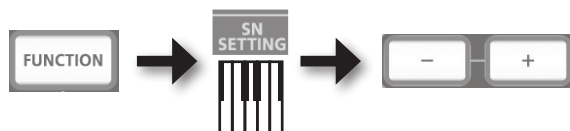
値	設定	鍵盤の感度	カーブの種類
0	1-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	もっとも標準的な設定です。鍵盤を弾く強さと音量の変化がもっとも自然になります。 
1	1-MEDIUM (初期値)	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
2	1-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
3	2-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	1 のカーブに比べ、弱めに鍵盤を弾くときの音量の変化が大きくなります。 
4	2-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
5	2-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
6	3-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	鍵盤を弾く強さによる変化が少なく演奏しやすい音量が保てます。 
7	3-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
8	3-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	
9	4-LIGHT	鍵盤を弱く弾いても大きなベロシティー値 (音量) になります。	1 のカーブに比べ、強めに鍵盤を弾くときの音量の変化が大きくなります。 
10	4-MEDIUM	鍵盤の感度が標準に設定されています。	
11	4-HEAVY	鍵盤を強く弾かないと大きなベロシティー値 (音量) になりません。	

押さえた鍵のベロシティー値を設定する (KEY VELO)



値	設定	説明
0	TOUCH (初期値)	『ベロシティー・カーブを変える (VELO CURVE)』(P.28) で設定した鍵盤の感度と変化のしかた (カーブ) に応じたベロシティー値を送信します。
1 ~ 127	固定値	鍵盤をどのような強さで弾いても、設定した値のベロシティー値が送信されます。

SuperNATURAL モードでの [C2] つまみの機能を切り替える (SN SETTING)



ボタン	設定	説明
[+] ボタン	MODE 1	[C2] つまみに汎用操作子 4 (CC#19) が割り当てられます。
[-] ボタン	MODE 0 (初期値)	[C2] つまみに汎用操作子 2 (CC#17) が割り当てられます。

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

つまみ、ボタン、端子に割り当てる機能を替える

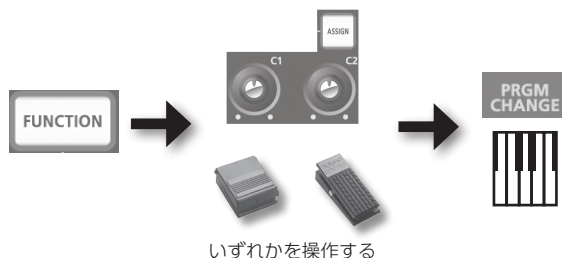
プログラム・チェンジ・メッセージを割り当てる (PRGM CHANGE)

[S1] [S2] ボタンの場合

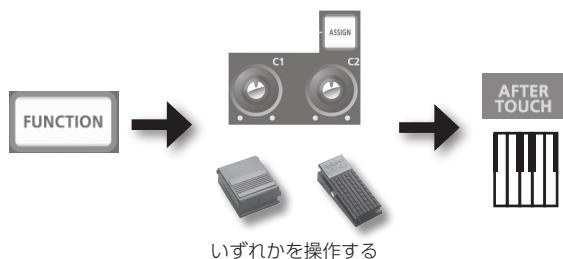


ボタン	機能
[S1] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ小さくする
[S2] ボタン	プログラム・チェンジ・ナンバーを 1 つ大きくする

その他の操作子の場合

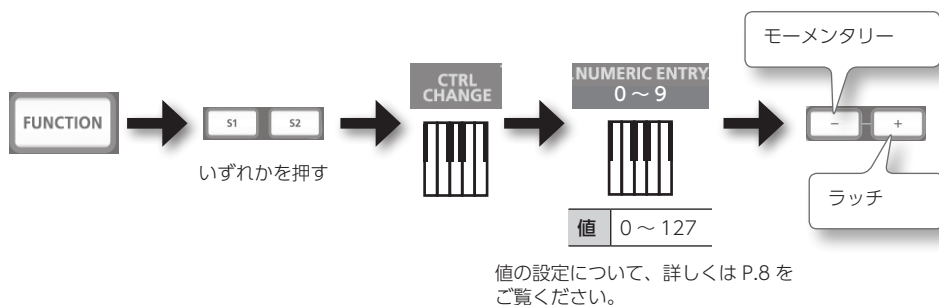


アフタータッチを割り当てる



コントロール・チェンジ・ナンバー (CC#) を割り当てる

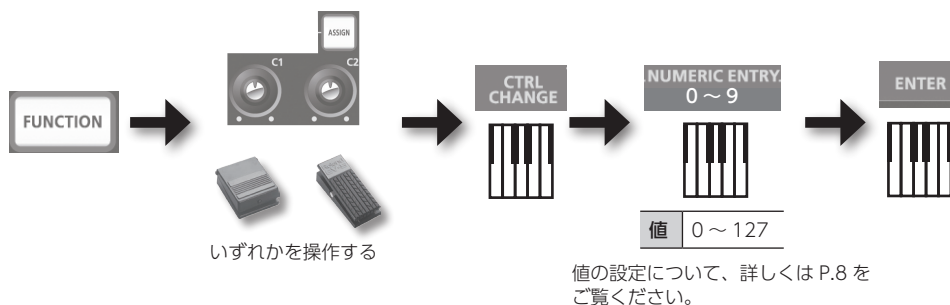
[S1] [S2] ボタンの場合



ボタン	[S1] [S2] ボタン
[+] ボタン	押すたびに ON (127) と OFF (0) を交互に送信 (ラッチ)
[-] ボタン	押すと ON (127)、離すと OFF (0) を送信 (モーメンタリー)

A-49 の設定を変える

その他の操作子の場合



※ CC#0 (バンク・セレクト MSB) と CC#32 (バンク・セレクト LSB) を割り当てることはできません。

よく使用される CC#

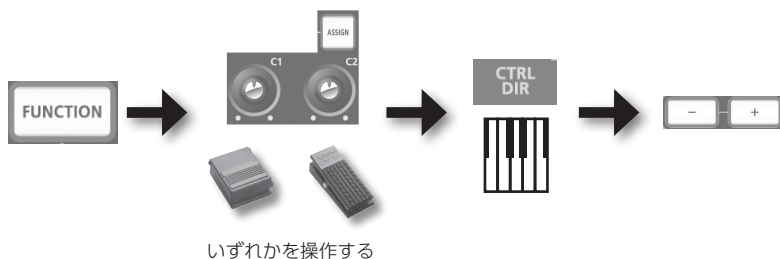
CC#	機能	工場出荷時の割り当て
1	モジュレーション	[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバーのモジュレーション
5	ポルタメント・タイム	—
7	ボリューム	[VOL] ボタン
10	パンポット	—
11	エクスプレッション	EXPRESSION 端子
64	ホールド	HOLD 端子
65	ポルタメント	—
66	ソステヌート	—
67	ソフト・ペダル	—
71	レゾナンス	[C2] つまみ
72	リリース・タイム	—
73	アタック・タイム	—
74	カットオフ	[C1] つまみ
75	ディケイ・タイム	—
76	ビブラート・レート	—
77	ビブラート・デプス	—
78	ビブラート・ディケイ	—
84	ポルタメント・コントロール	—

A-49 の設定を変える

CC#	機能	工場出荷時の割り当て
91	エフェクト 1 (リバーブ・センド・レベル)	—
93	エフェクト 3 (コーラス・センド・レベル)	—

※ かかる効果は、音源によって異なります。詳しくは、お使いの音源の取扱説明書をご覧ください。

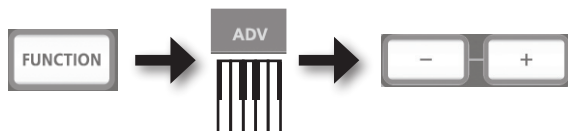
つまみ、D ビーム・コントローラー、ペダルの値の大きくなる向きを変える (CTRL DIR)



ボタン	設定	説明
[+] ボタン	正方向 (初期値)	つまみを右に回すと、値は大きくなります。 D ビーム・コントローラーの低い位置で手をかざすと値は大きくなり、高い位置で手をかざすと値は小さくなります。 ペダルを踏むと、値は大きくなります。
[-] ボタン	逆方向	逆になります。

A-49 の設定を変える

使用するドライバーを専用か OS 標準か切り替える

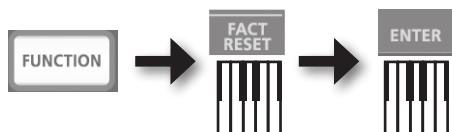


通常は ADVANCED でお使いください。

ボタン	設定	説明
[+] ボタン	ADVANCED (初期値)	『ドライバーのインストール』(P.13)で紹介した専用ドライバーを使用します。
[-] ボタン	GENERIC	OS が提供する標準ドライバーを使用します。手元に専用ドライバーがない場合など、専用ドライバーをインストールできないときに便利です。

※ 変更して USB ケーブルをつなぎなおすと、設定が反映されます。

工場出荷時の状態に戻す (FACT RESET)



故障かな?と思ったら

トラブルが発生したら、まずこの章を読みましょう。トラブルを解決するためのヒントが書かれています。この章の内容を確認しても解決しないときは、弊社ホームページのサポートへアクセスしてみてください。それでも解決しないときには、巻末の『お問い合わせの窓口』にお問い合わせください。

ローランド・ホームページのサポート

<https://www.roland.com/jp/support/>



ドライバーをインストールするときのトラブル

トラブル	確認事項	対処
インストールできない	パソコンの管理者権限を持っていないユーザーでログオンしていませんか？	パソコンの管理者権限を持ったユーザーでログオンしてください。 詳しくは、お使いのパソコンのシステム管理者にご相談ください。
インストールが完了しない	パソコンがバッテリーで動作していませんか？	パソコンに電源コードを接続してお使いください。
	マウス、キーボード以外の USB 機器が接続されていませんか？	マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンからはずした状態で、インストールしてください。
	本機をバスパワー USB ハブ（AC アダプターに接続しない USB ハブ）に接続していませんか？	セルフパワー USB ハブ（AC アダプターに接続する USB ハブ）に接続してください。

本機を使用するときのトラブル

トラブル	確認事項	対処
本機のデバイスを選べない／使用できない	ドライバーをインストールしていますか？	ドライバーをインストールしてください（P.13）。
	POWER インジケーターが消灯していませんか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください（P.13）。
	本機のデバイス名は表示されていますか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	他のソフトウェアで本機を使用していますか？	それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください（P.13）。

故障かな?と思ったら

トラブル	確認事項	対処
本機のデバイスを選べない／使用できない	本機が接続されているときに、パソコンがスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態、スリープ状態になりませんでしたか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	本機を使用中に USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？	それでも解決しないときは、パソコンを再起動してください。
	パソコンの起動時に本機を接続していませんか？	パソコンを起動してから、本機を接続してください。 一部のパソコンで、パソコンの起動時に本機が接続されていると本機を使用できないことがあります。
	Mac OS X 「Audio MIDI 設定」を設定していますか？	Audio MIDI 設定をしてください。
	ドライバーの設定を OS 標準（GENERIC）に設定していませんか？	専用（ADVANCED）に設定してください（P.34）。
音が出ない	POWER インジケーターは消灯していますか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。
	ペダルや D ビーム・コントローラーを操作したことで音量が下がっていませんか？	ペダルを踏み込んだり、D ビーム・コントローラーに手をかざしたりしてみてください。
再生や録音ができない	ドライバーをインストールしていますか？	ドライバーをインストールしてください（P.13）。
	ソフトウェアの入出力デバイスを設定していますか？	入出力デバイスに A-49 を選んでください。
	本機の POWER インジケーターが消灯していませんか？	本機がパソコンに正しく接続されているか確認してください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください（P.13）。
	MIDI ケーブルに接続した音源が MIDI 信号を受信していますか？	音源の設定を確認してください。
	他のソフトウェアで本機を使用していますか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。 それでも解決しないときは、ドライバーをインストールしなおしてください。
	本機が接続されているときにパソコンがスタンバイ（サスペンド）状態や休止状態、スリープ状態になりませんでしたか？	本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機の USB ケーブルをつなぎなおしてください。
	本機を使用中に USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？	それでも解決しないときは、パソコンを再起動してください。

トラブル	確認事項	対処
再生や録音ができない	パソコンの起動時に本機を接続していませんか？	パソコンを起動してから、本機を接続してください。 一部のパソコンで、パソコンの起動時に本機が接続されていると本機を使用できないことがあります。
	本機を使用中に負荷が重い処理をしませんでしたか？	再生や録音を停止してから、再び再生や録音をしてください。 それでも解決しないときは、本機を使用しているソフトウェアをすべて終了し、本機のUSBケーブルをつなぎなおしてください。
2度鳴りする	音源がローカル・オンに設定されていませんか？ ソフトウェアのスルー機能がオンに設定されていませんか？	以下のように設定してください。 音源：ローカル・オフ ソフトウェア：スルー機能をオフ 設定方法についてはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
再生中に音が途切れる、一部の音が抜ける	複数のソフトウェアを起動していませんか？	使用していないソフトウェアを終了してください。
	Windows Windows Update、Microsoft Updateをしていますか？	Windows Update あるいは Microsoft Update を実行し、システムを最新の状態にしてください。
	Mac OS X Mac OS X のソフトウェア・アップデートをしていますか？	ソフトウェア・アップデートを実行し、システムを最新の状態にしてください。
	パソコン搭載のチップセット、グラフィックのドライバーを更新していますか？	最新のドライバーに更新してください。
	USB ハブに本機を接続していませんか？	本機を直接パソコン本体のUSB端子に接続してください。
	パソコンの起動した直後や、スリープ状態から復帰した直後に、再生や録音をしませんでしたか？	しばらく待ってから、再生や録音をしてください。
鍵盤を弾いてから、ソフトウェア・音源が鳴るまでに時間差（タイムラグ）が発生する	ソフトウェア音源のオーディオバッファを下げ（小さくし）ていますか？ サウンドカードのバッファを下げ（小さくし）ていますか？	ソフトウェア音源はその構造上、パソコンのサウンド・カードを使って音を鳴らします。しかし、ソフトウェア音源の音が、サウンド・カードから実際の音となって再生されるまでには、一般的に「レイテンシ」と呼ばれるタイムラグが発生します。 レイテンシは、どのようなソフトウェア音源とサウンド・カードとの組み合わせでも必ず発生するものですが、組み合わせやソフトウェア、サウンド・カードの設定によっては、実用上ほとんど支障がない程度まで縮めることができる場合があります。 具体的な設定手順については、ソフトウェアやサウンド・カードの取扱説明書などをご覧ください。

主な仕様

ローランド A-49 : MIDI キーボード・コントローラー

キーボード	49 鍵 (ペロシティー対応)
コントローラー	ボタン : [S1] [S2] (アサインابل) つまみ : [C1] [C2] (アサインابل) フット・ペダル : ホールド、エクスプレッション [ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー D ビーム・コントローラー
ボタン	[FUNCTION] ボタン [SuperNATURAL] ボタン [+] [-] ボタン [TRANSCOPE] ボタン
ディスプレイ	POWER インジケーター LED OCTAVE / TRANSCOPE インジケーター LED
接続端子	HOLD 端子 : 標準タイプ EXPRESSION 端子 : TRS 標準タイプ MIDI OUT 端子 USB COMPUTER 端子 (USB タイプ B)
電源	USB COMPUTER 端子より取得
消費電流	98mA
外形寸法	836 (幅) × 182 (奥行) × 84 (高さ) mm
質量	2.5kg
付属品	取扱説明書 USB ケーブル Ableton Live Lite シリアル番号カード 保証書 ローランド ユーザー登録カード
別売品	ペダル・スイッチ (DP-2 / DP-10) エクスプレッション・ペダル (EV-5)

※ 製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

MIDI インプリメンテーション・チャート

Date : Sep. 1, 2012

Version : 1.00

Model: A-49

ファンクション ...		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源 ON 時 設定可能	1 1 ~ 16	×	
モード	電源 ON 時 メッセージ 代用	モード 3 OMNI ON/OFF, MONO, POLY *****	×	
ノート ナンバー	: 音域	0 ~ 127 *****	×	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ (9n v=1 ~ 127) ○ (8n v=1 ~ 127)、(9n v=0)	×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		○	×	
コントロール・ チェンジ	0-119	○	×	
プログラム チェンジ	: 設定可能範囲	○ (0 ~ 127) *****	×	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	: ソング・ポジション : ソング・セレクト : チューン	○ ○ (0 ~ 127) ○	×	
リアルタイム	: クロック : コマンド	○ ○	×	
その他	: オール・サウンド・オフ : リセット・オール・コントローラー : ローカル ON/OFF : オール・ノート・オフ : アクティブ・センシング : システム・リセット	○ *1 (120) ○ *1 (121) ○ ○ *1 (123) ○ ○	×	
備考		*1 PANIC 送信時		

モード 1 : オムニ・オン、ポリ モード 2 : オムニ・オン、モノ ○ : あり
 モード 3 : オムニ・オフ、ポリ モード 4 : オムニ・オフ、モノ X : なし

MEMO

MEMO

MEMO

索引

記号

[+] [-] ボタン.....11

A

Ableton Live Lite シリアル番号カード.....9

AFTERTOUCHE.....26

[ASSIGN] ボタン.....10、23

B

BANK SELECT LSB.....20

BANK SELECT MSB.....20

C

[C1] つまみ.....24

[C2] つまみ.....24

CHANNEL.....19

CTRL DIR.....33

D

D ビーム.....10、23

D ビーム・コントローラー.....10

E

EXPRESSION 端子.....12、25

F

FACT RESET.....34

[FUNCTION] ボタン.....10

FUNCTION モード.....15

H

HOLD 端子.....12、25

K

KEY VELO.....29

L

LSB.....20

M

MIDI CHANNEL.....19

MIDI OUT 端子.....12

MIDI Visual Control.....17

MIDI Visual Control モード.....17

MIDI 送信チャンネル.....19

MSB.....20

O

OCTAVE / TRANSPOSE インジケーター.....11

P

PANIC.....26

[PITCH] ボタン.....10、23

POWER インジケーター.....10

PRGM CHANGE.....30

S

SN SETTING.....29

SuperNATURAL.....16

SuperNATURAL モード.....16

T

[TRANPOSE] ボタン.....11

U

USB COMPUTER 端子.....12

V

VELO CURVE.....28

[VOL] ボタン.....10、23

あ

アフタータッチ.....26

え

エクスペッション.....25

お

オクターブ・シフト.....21

音色.....19

こ

コントロール・チェンジ・ナンバー.....31

と

動作モード.....14

ドライパー

切り替え.....34

トランスポーズ.....21

な

鳴りやまない.....26

は

パニック.....26

バンク.....20

バンク・セレクト LSB.....20

バンク・セレクト MSB.....20

ひ

ピッチ・ベンド.....22

[ピッチ・ベンド/モジュレーション] レバー.....10

ふ

プログラム・チェンジ.....30

へ

ペロシティー.....28、29

ペロシティー・カーブ.....28

ほ

ホールド.....25

も

モード.....14

モジュレーション.....22

困ったときは

「使いかたがわからない」、「正しく動作しない」など、困ったときはお気軽にローランドお客様相談センターへご連絡ください。

お問い合わせの窓口



ホームページからのお問い合わせ

Q&A、チャットサポート、メールでお問い合わせ

Roland製品

http://roland.cm/roland_support



BOSS製品

http://roland.cm/boss_support



電話でのお問い合わせ

ローランドお客様相談センター

050-3000-9230

電話受付時間：月曜日～金曜日 10:00～17:00
(祝日および弊社規定の休日を除く)

'20. 04. 01 現在

